薬師中
YAKUSHICHU

町田市立薬師中学校　2025. 4. 21
令和７年度　学校便り　第１号

tel 042-725-5002　fax 042-721-4453

114名の新入生を迎えて

校　長

４月８日第５５回入学式、１１４名の１年生は薬師中学校での第一歩を踏み出しました。

第５５回町田市立薬師中学校入学式は、全員出席の入学生と２，３年生の在校生、そしてたくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様に見守られて、無事に行うことができました。

ちょっと緊張した表情をしていた１年生ですが、「新入生紹介」で、担任の先生から一人一人名前を呼ばれると、皆、大きな声でしっかりと返事ができました。これからの期待と希望が込められた最も短い意思表明である「返事」を聞きながら、校長として、これから始まる薬師中学校生活を充実したものとするために、こんな生徒になって欲しい、という話をいたしました。

一つ目は「自ら学び、学び続ける生徒」です。学校はいつも、毎日、学びにあふれています。健康な元気な体である限り、毎日、学校に登校し、何かしら学んで帰る、その繰り返しを大切にしてほしい。今日よりも明日、そしてその次と学び続ける生徒であってほしいと願っています。

二つ目は「自分も仲間も大切にし、協力し合う生徒」です。新入生も在校生も、この４月に一人一人の目標、あるいは学級、学年の目標を考えたと思います。その目標を達成するためには、仲間との協力がなければ達成できないこともあるでしょう。一人で頑張るだけではなく、仲間を信頼し、仲間と協力しあえる生徒であってほしいと期待しています。

最後の三つ目は「挨拶がきちんとできる生徒」です。とってもシンプルなことですが、難しいことでもあります。「挨拶がきちんとできる」ということは、時、場所、状況、相手と自分との関係を瞬時に判断し、言葉を選ぶことができるということです。そして礼儀とマナーを兼ね備えた挨拶ができるということです。挨拶と返事は「最も短い自己表現」、「コミュニケーションツール」です。社会に通用する「挨拶」をしっかりと身につけていきましょう。

そして、新入生代表の道下そらさんが「誓いの言葉」で、苦手な教科を少しでも「好き」になれるように頑張りたい、中学校でも、お互いを高めあうことのできる仲間をつくり、自分の殻を破り挑戦したい、とその決意を堂々と述べてくれました。同じように新入生一人一人に決意、１１４通りの決意があるでしょう。どうぞ、その初心を忘れずに、薬師中の新たな歴史の１ページを共に仲間たちとつくっていきましょう。

参列した在校生の歓迎の歌と言葉も素晴らしく、在校生の思いは新入生の心に届いたことでしょう。

きっとこれからも、困っている１年生を見かけたら、その思いを行動に、優しい言葉をかけてあげることができる頼もしい上級生となる、と私は確信しました。

こうして新入生を迎え３０４名で令和７年度をスタートしました。先生たち、保護者や地域の方々とともに「また明日」も通いたくなる薬師中学校をつくっていきましょう。

「大切なのはかつてでもなくこれからでもない一呼吸(ひとこきゅう)一呼吸(ひとこきゅう)の今」

これは坂村真民(さかむらしんみん)さんの「今」という詩です。昨年の始業式に、この詩とともに、校長より課題をだしました。これは今年も続いています。昨年度よりできるようになっていることを期待します。

１　今、粘り強く自主的に勉強をしよう　（中学生の本文は勉強です）
２　今、自分や仲間を信じ前向きに協力しあおう　（一人でもできる、仲間ともできる）
３　今、自分から挨拶することを心がけよう　（人と人とをつなぐ最小にして最大の行為）

この３つを常に「今」という時間を意識して取り組んでください。ですが、その取り組みに対しての評価は「今」ではありません。大人になったときに、社会に出たときにわかるのです。だからこそ今のうちに身につけておきたい力です。「今」という時間を意識して取り組んでいきましょう。